

みやまえ

宮前ため池協議会



施設の維持管理活動



堰板による田んぼダムの取組



ヘアリーベッチを緑肥として活用

農業従事者の高齢化や非農業者率が高まったこと等により、地域のコミュニケーションの希薄化等が課題となり、集落営農の実現と非農業者も参加した地域資源活動の必要性が生じた。

このため、平成3年に営農組合を設立、平成19年度からは地域資源保全活動を開始し、一集落一農場による営農展開と、田んぼダム・施設管理等の保全管理活動を非農業者も含めて実践。特に、生物多様性・環境の保全の取組や地域住民参加型のイベントの開催等により、地域社会の振興に貢献している。



かがわ
兵庫県加古川市

【洪水防止】

全域で田んぼダムに取り組み、水田の雨水貯留機能を高め、大雨による浸水発生を抑制。

【土砂流出防止】

泥上げ、草刈り等を地域ぐるみで保全管理する体制が定着。

【水質浄化】

水田はヘアリーベッチ、畑にはクロタラリアを栽培し、緑肥施用により化学肥料の低減に努めている。

【地域社会の振興】

ため池のかいぼりによる外来種駆除活動、クリーンキャンペーン、コスモス祭り、収穫祭、農産物試食会等を通じて、集落内農業の活性化と都市との交流が促進。



ため池のかいぼり



スライドモアによる草刈り作業



コスモス祭り



クリーンキャンペーン



じゃがいも等の収穫祭



農産物試食会